

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス北習志野		
○保護者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2026年1月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2026年1月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	週ごとに「勉強・運動・製作・レクリエーション」のプログラムを組み替え、児童が均等に療育プログラムを受けられるよう実施しています。	フロア全体にマットを敷設しており、安全性を確保するとともに、事故や怪我の防止、1階フロアへの防音配慮を行っています。	就労に向けた療育の一環として、始まりの会の準備や終了時の椅子・机の出し入れ、おやつ後の食器の片付け等を行っており、今後はさらに別の活動にも取り組んでいきたいと考えています。
2	保護者とのコミュニケーションが円滑に行われており、日常的なやり取りを通して細かな相談事項にも柔軟に対応できています。また、職員同士のコミュニケーションも良好で、長年勤務を継続しているパート職員が多く、職員の定着率が高いことも当事業所の強みです。	保護者との円滑なコミュニケーションや職員間の連携を維持するため、連絡帳を活用した日々の情報共有や、申し送り・引き継ぎを丁寧に行っています。また、職員間でも随時共有を行い、支援内容や児童の様子を共通認識として持てるよう工夫しています。	情報共有の質をさらに高めるため、記載方法や引き継ぎ内容の統一を図り、定期的な振り返りの場を設けていきます。
3	送迎時間について、各家庭への送迎時間を綿密に管理したスケジュール表を作成しており、週ごとに送迎時間表を各家庭へ配布しています。帰宅時間が事前に分かることで、保護者様からも好評をいただいています。	送迎時間にずれが生じないよう、週単位でスケジュールを見直し、変更がある場合は事前に共有する体制を整えています。また、職員間でも送迎表を共有し、共通認識を持って対応できるようにしています。	今後は、急な変更や遅れが生じた場合にも速やかに連絡が行えるよう、連絡方法や共有手順をさらに明確にし、より安心していただける送迎体制の構築を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所がビルの2階にあるため、災害時や不審者侵入時において、迅速かつ安全な対応が求められ、有事の際の対応が難しくなる可能性があります。	災害や不審者侵入を想定し、定期的に防災訓練を実施しています。訓練を通して、避難経路の確認や職員それぞれの役割分担を共有し、対応力の向上を図っています。	今後は、より具体的な状況を想定した訓練を行うとともに、児童一人ひとりの特性に応じた対応方法についても事前に共有し、有事の際にも落ち着いて行動できる体制づくりを進めていきます。
2	外出レクリエーションについては、安全面を十分に確保することが難しい場合があり、実施回数が限られている状況があります。	外出が難しい場合でも、室内での活動内容を工夫し、運動やレクリエーションを取り入れることで、児童が楽しく過ごせるよう配慮しています。	今後は、安全面を最優先に考えた体制や対応方法を検討し、条件が整った際には外出レクリエーションの機会を徐々に増やしていきたいと考えています。
3			